

2021（令和3）年度卒業時アンケート
（要約版）

2022（令和4）年5月1日発行

教学IRセンター
教務委員会
学生生活委員会

2021（令和3）年度卒業時アンケート概要

1. 実施名称 2021（令和3）年度卒業時アンケート
2. 実施目的 本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること等について卒業時における現状を把握するとともに本学の教育改善の参考資料とする。
3. 実施対象者 2021（令和3）年度 医学部卒業生132名
4. 実施期間 2022（令和4）3月3日～4日
5. 実施方法 Webアンケート方式
6. 回収数（回収率） 126名（95.5%）
7. 実施母体 教学IRセンター医学教育点検推進室
山岸 秀嗣
8. 協力 教務委員会
学生生活委員会
学務部教務課
9. データ管理等 得られたデータは、個人名が特定されない形で、教学IRセンターが管理するデータベースに保管されます。データは、個人名が特定されない形で、報告書や獨協医科大学教学IRセンターのウェブページなどの形で公表されることがあります。記載していただいた個人情報は、教学IRセンターにて適切に管理し、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。

<ディプロマ・ポリシー関連について>

問. 以下の項目は、本学医学部の学修成果（アウトカム）です。それぞれの能力をどのくらい身につけることができましたか。

凡例：

■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

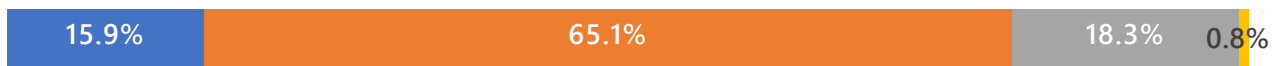
人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。



種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。



卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。



医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。



医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。



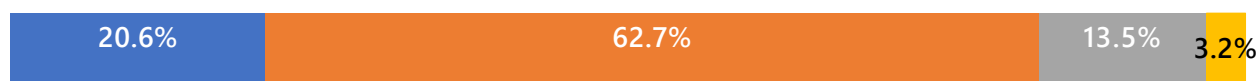
医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。



医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。



書籍や種々の資料、情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。



最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。



自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。



凡例： ■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。



医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。



医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。

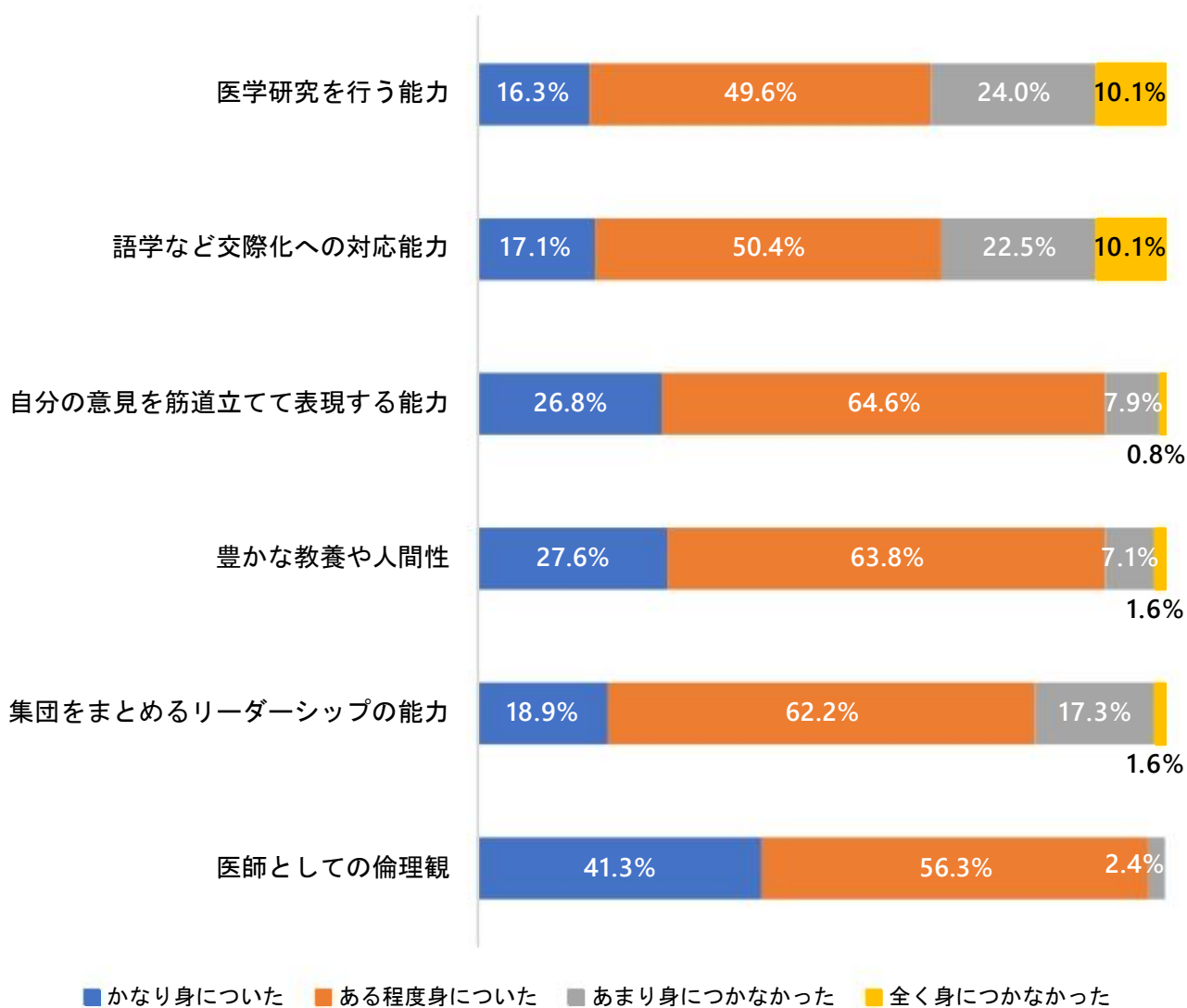


多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。



凡例： ■ かなり身についた ■ ある程度身についた ■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

問. 獨協医科大学での授業や活動を通して、以下の能力を身に付けることはできましたか。

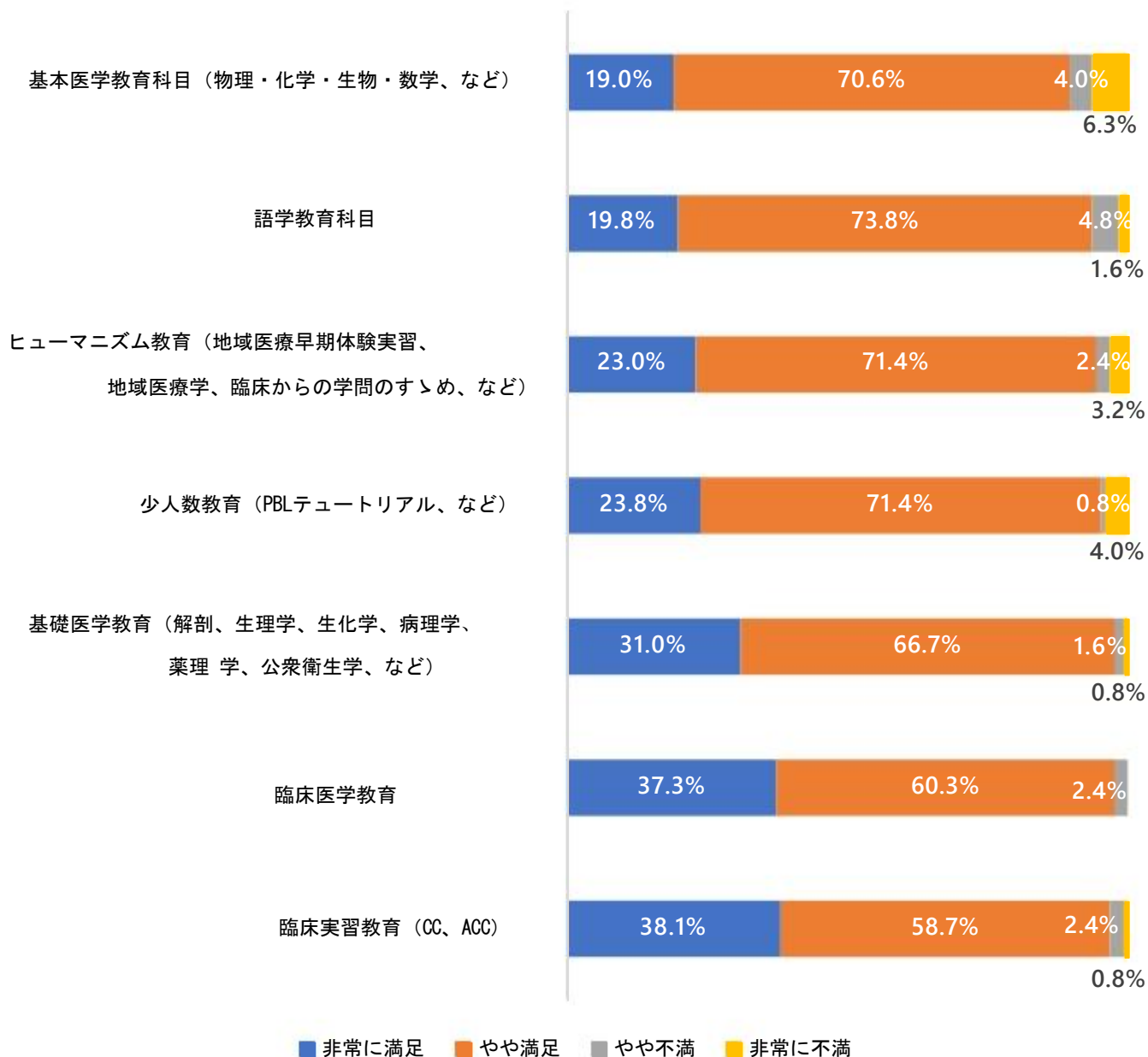


問. 6年間の教育プログラムは、本学の建学の精神である「学問を通じての人間形成」にあったものでしたか。



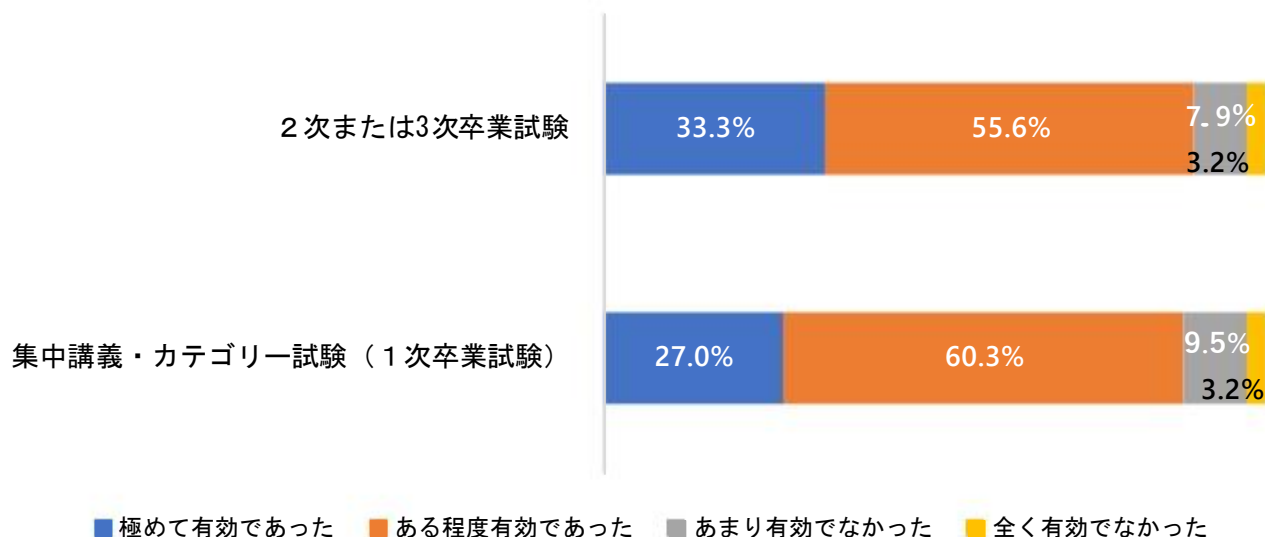
< 6年間の教育について >

問. 獨協医科大学で教育を受けた次の項目に満足できましたか。



< 第6学年の教育および試験について >

問. 集中講義・カテゴリー試験 (1次卒業試験) の内容は国家試験対策に有効でしたか。



<国家試験対策について>

問. 大学から提供された教材（ネット講座）は有用でしたか。



■ 大いに有用であった ■ 有用であった ■ あまり有用でなかった ■ 全く有用でなかった

問. 国家試験対策少人数教育（ナイター）はいかがでしたか。



■ 大いに有用であった ■ 有用であった ■ あまり有用でなかった ■ 受講していない

問. 6年時の模擬試験の実施回数はいかがでしたか。



■ 多い ■ 妥当である ■ 少ない

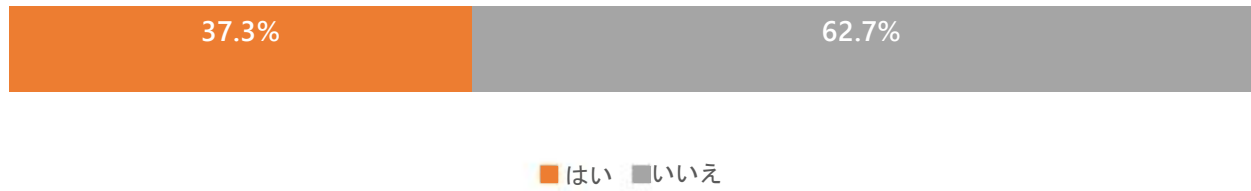
問. 6年次の模擬試験は国家試験対策に有用でしたか。



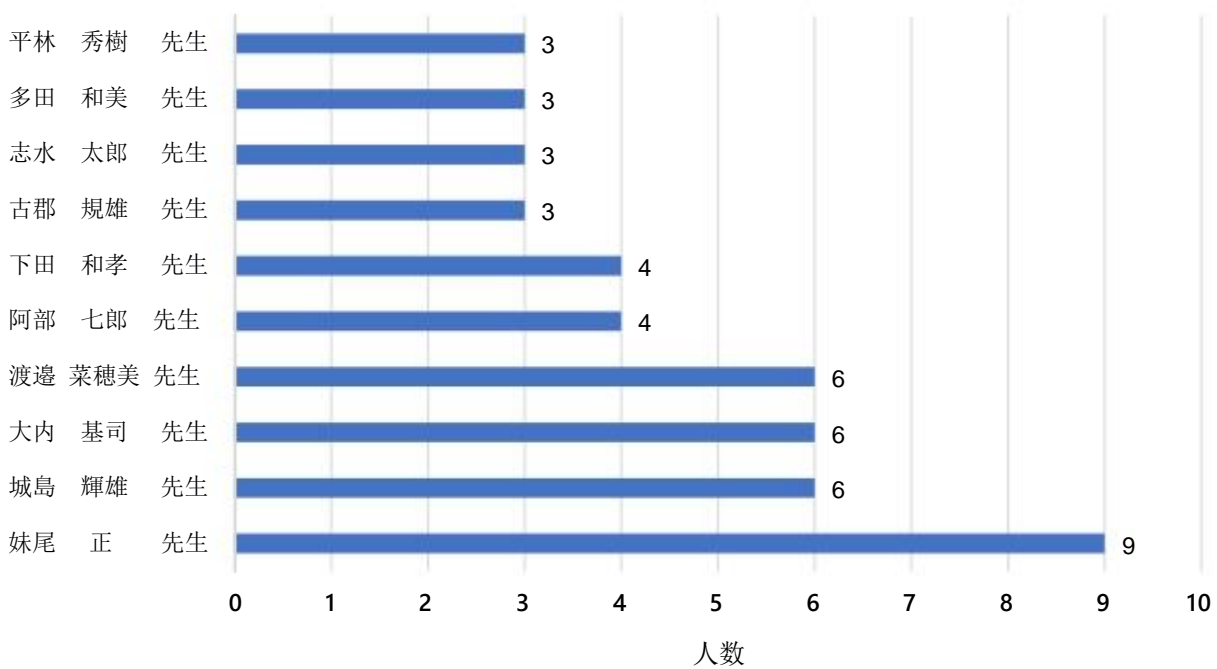
■ 大いに有用であった ■ 有用であった ■ あまり有用でなかった ■ 全く有用でなかった

<Tutor 制度について>

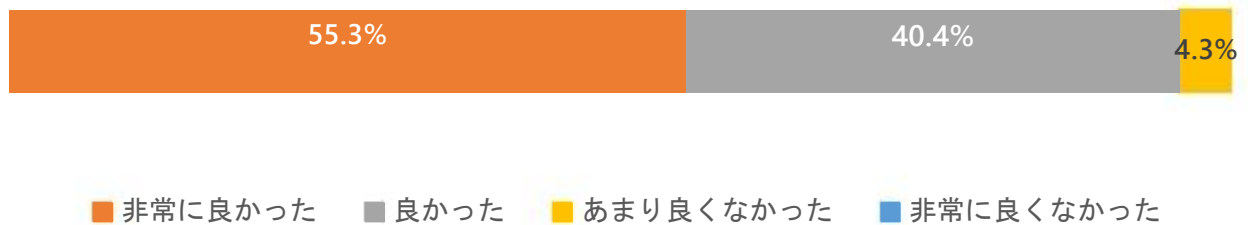
問. Tutor 制度を利用しましたか。



問. 担当頂いた Tutor の先生を教えてください。



問. Tutor によるサポート（面談など）はいかがでしたか。



<国家試験対策について>

問. 獨協医科大学の「国家試験対策」を総合的にみて満足できましたか。

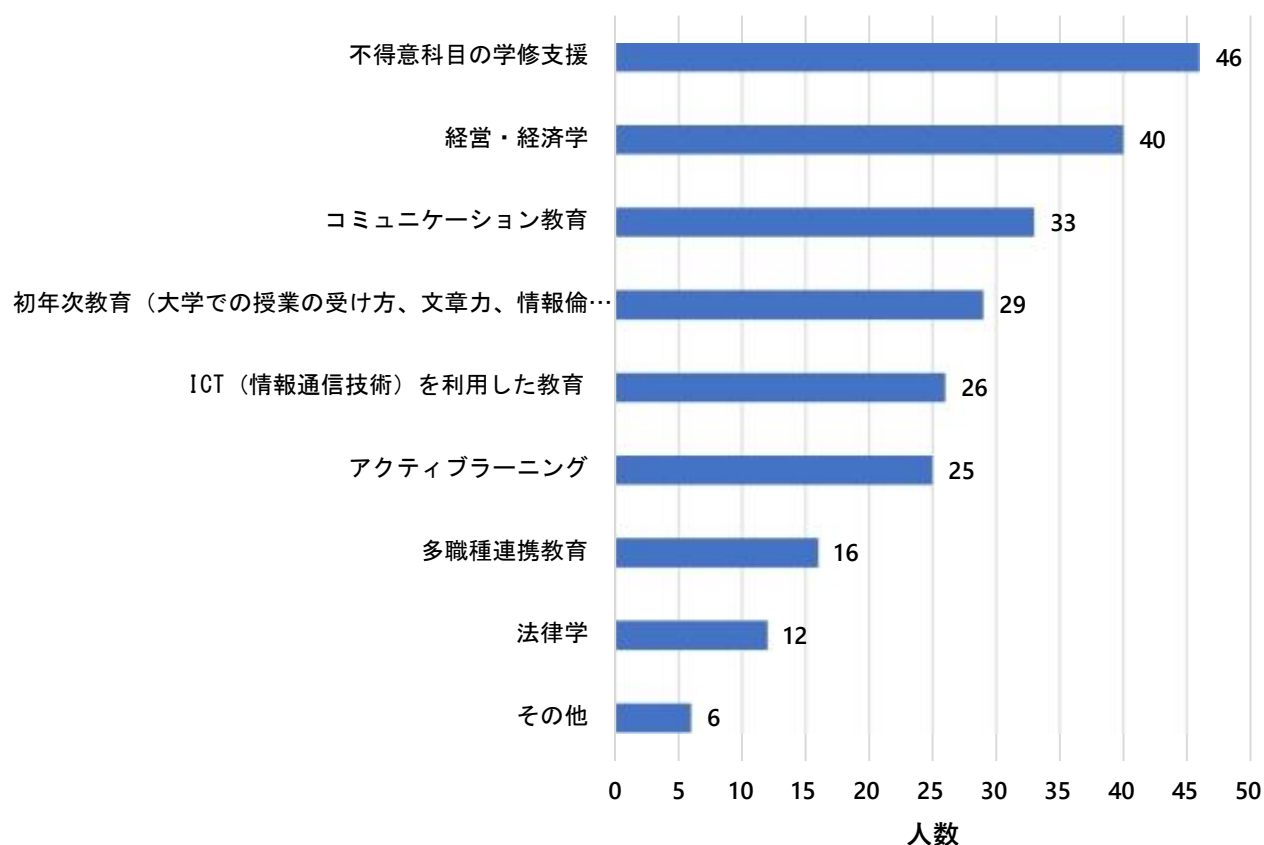


<カリキュラム全般について>

問. あなたの学修において、6年間のカリキュラム構成は適切でしたか。

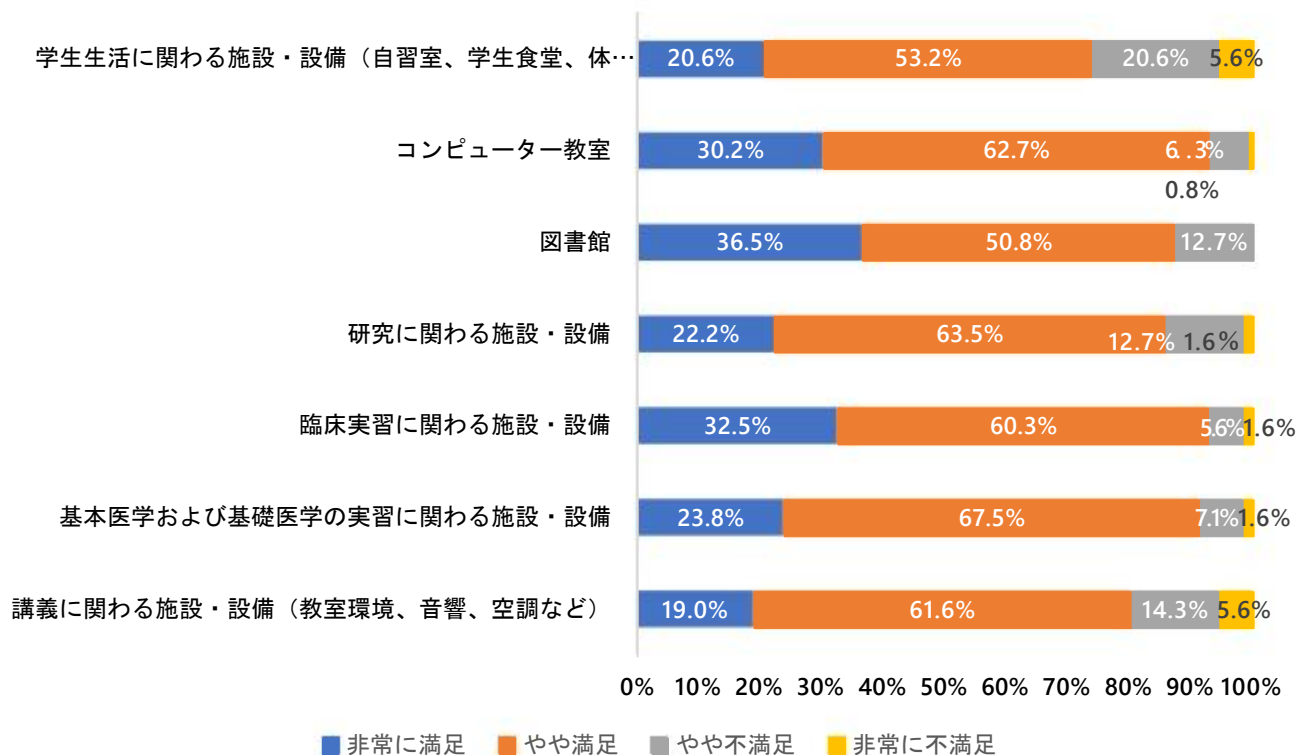


問. 今後どのような教育を充実させるのが望ましいと思いますか。望ましいと思うもの全てを選んでください。



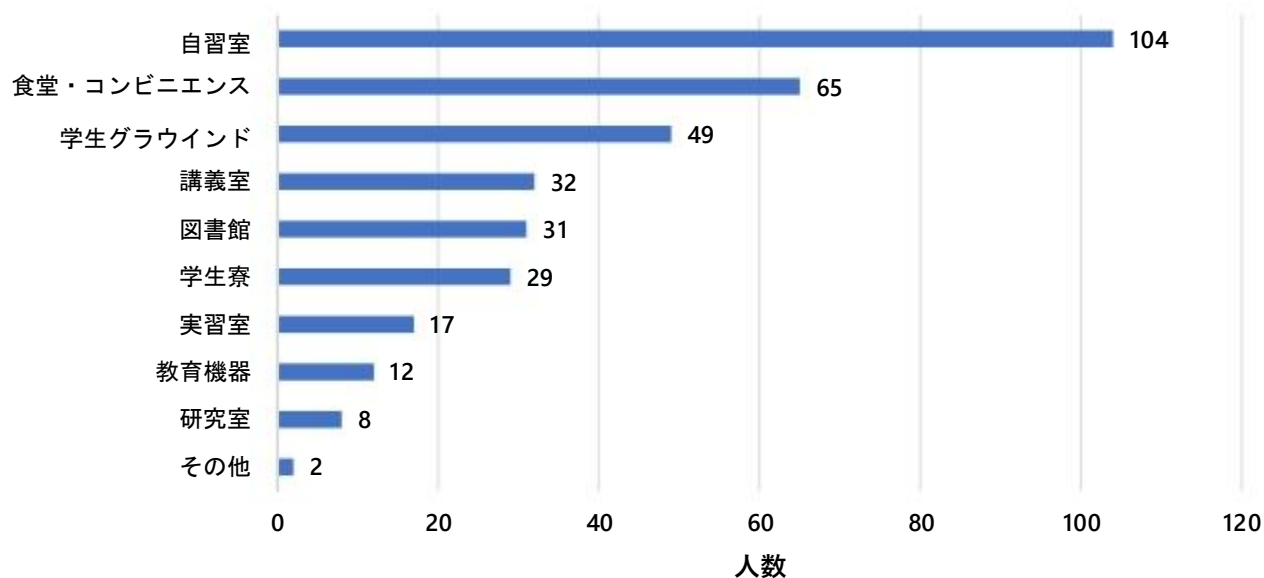
<施設に関する質問>

問. 獨協医科大学の次にあげる施設・設備に満足できましたか。



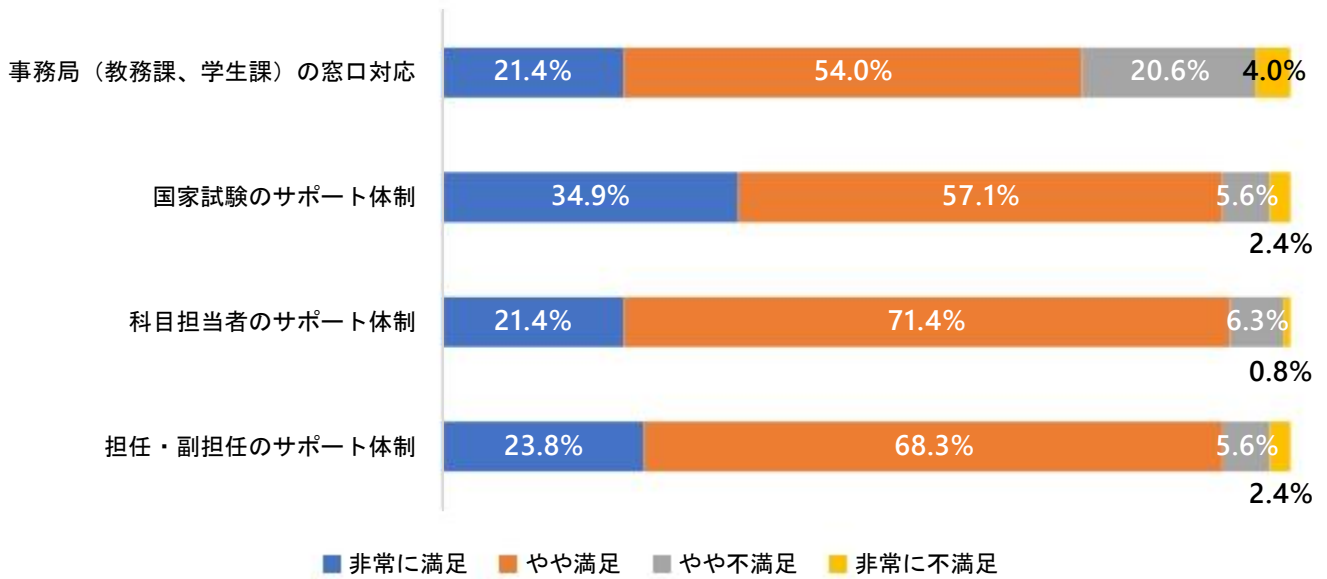
注：学生生活に関わる施設・設備 (自習室、学生食堂、体育館、グラウンドなど)

問. 獨協医科大学では、今後、どのような施設を充実させるのが望ましいと思いますか。あてはまるもの全てを選んでください。

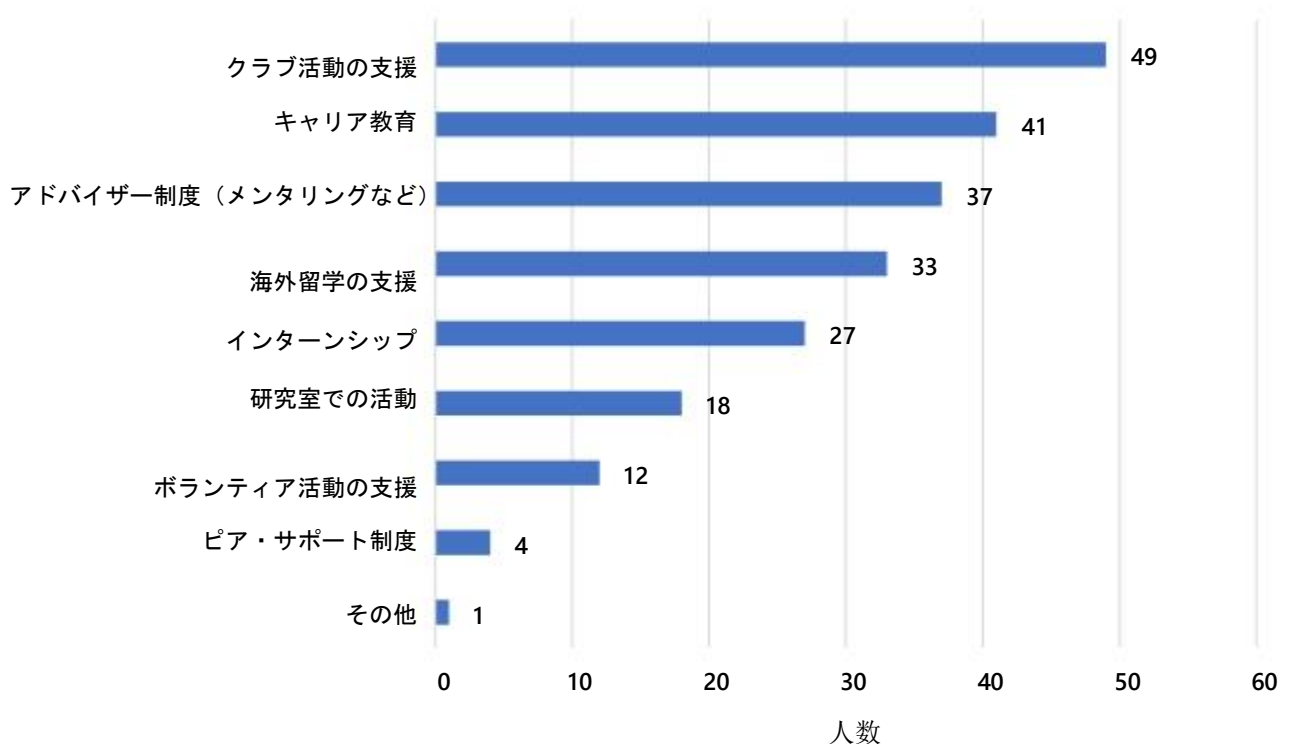


〈学生支援について〉

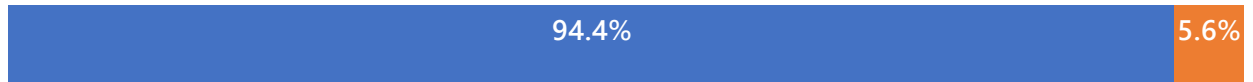
問. 獨協医科大学の次にあげる学生支援について満足できましたか。



問. 学生生活を通じての人間形成のために、獨協医科大学が何に力を入れるべきですか。あてはまるもの全てを選んでください。



問. 学友会委員会や部活、サークルなどの課外活動を行っていましたか。



■ はい ■ いいえ

問. 課外活動は充実していましたか。



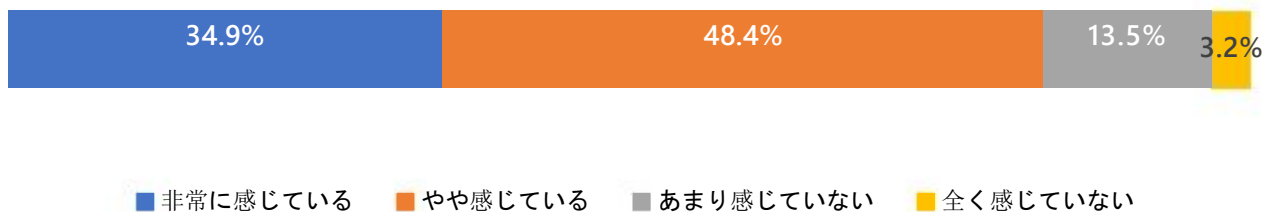
■ 非常に充実していた ■ やや充実していた ■ あまり充実していなかった ■ 全く充実していなかった

<大学全体を振り返って>

問. 大学生活を全般を振り返って満足していますか。



問. 獨協医科大学を卒業することに誇りを感じていますか。



問. 獨協医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたいですか。

